

オオサキ ワンダー ミュージアム

人と大自然の青空博物館

vol.13

「たべるフィールドミュージアム
マップ・レシピブック」を作成
しました

世界農業遺産推進課自然共生推進担当
☎23-2281



大崎耕土の「食」など
を感じられるマップ



大崎ならではのレシ
ピなどを掲載

大崎耕土ウェブサイト
OSAKI KOUDO Website



大崎地域世界農業遺産推進協議会では、世界農業遺産「大崎耕土」をより多くの人に知っていただくことを目的として、「食農体験レストラン」と「農泊湯治」の2大テーマを融合させた「たべるフィールドミュージアム」構想のもと、大崎耕土の食文化や地域資源の魅力を発信してきました。

その一環として、たべるフィールドミュージアムマップとレシピブックを作成しました。

「たべるフィールドミュージアムマップ」には、テイクアウト可能な飲食店やビュースポット、農業体験場所などが掲載されており、食や農業体験を通して大崎耕土を感じることができる内容となっています。

また、「郷土を味わうレシピブック」では、郷土料理や農家ならではのレシピ、農産物などが掲載されており、自ら作って食べることで、大崎耕土の食の魅力を体験できます。

マップやレシピブックは、大崎耕土ウェブサイトに掲載しているほか、市役所や各総合支所、公民館などに設置していますので、ぜひ、ご覧ください。

丸築城となりました。
また、今年度は東日本大震災から10年を迎え、本市の復興計画および中心市街地復興まちづくり計画の仕上

出城ともいえる総合支所、病院、図書館、子育て支援施設も完成し、合併15周年の節目の年にいよいよ本丸築城となりました。

先ごろ、市役所本庁舎新築工事安全祈願祭が挙行されました。
コロナ禍でありましたが、万全の感染症対策のもとで厳粛に執り行われました。
2年後の供用開始を目指し、いよいよ本丸築城の着工です。
現在の本庁舎は、築65年と老朽化したことに加え、合併市の本庁舎としては狭隘で、支所や県合同庁舎に庁舎機能を分散し、市民に不便をおかけしてまいりました。
合併時の新市建設計画では、合併10年をめどに新庁舎を建設する計画でしたが、財政再建や、災害復旧・復興を優先して着手が遅れてまいりました。

わが国は、古代からクニづくり、まちづくりの中心に城を構え、城下町を形成してまいりました。城下町は防衛機能、政治・行政機能、経済・商業機能を集積し、歴史や文化を育んでまいりました。

現代版本丸築城を踏み台に、新型コロナウイルス感染症や自然災害襲来から市民を守る安全安心なまちづくりと、誇りとにぎわいをつなぐ持続可能な大崎モデルを実現してまいります。

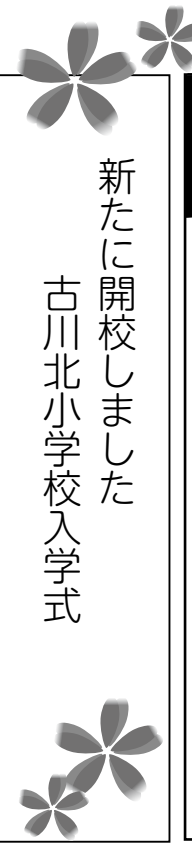
げの事業として、防災拠点機能を持つ本庁舎建設でもあります。まさに、合併と震災復興の総仕上げの大事業であります。

さらに、地方創生の真っただ中での本丸築城は、未来へ羽ばたく大崎市の象徴としての思いを込めた事業でもあります。



大崎市長 伊藤康志

市長コラム 天地人 本丸築城へ



今月の表紙

5月9日は母の日です。
古川地域敷玉の園芸農家、手島徹さんのハウスには、13種類のカーネーションが、母の日の出荷に向けて、育てられています。

それぞれカーネーションの種類によって、肥料の量も変わるとのこと。手島さんは、「毎日、発育状況や病気になっていないか、目で見て確認する。今年は一つの鉢植えに実ったつぼみが多い。」と話します。

手島さんのハウスでは、マーガレットやガーベラ、冬はポインセチアなど、年間を通して鉢花や花苗を栽培し、出荷しています。出荷先は、東北の市場ですが、古川地域敷玉の直売所でも販売しています。
季節ごとにハウス一面に咲き誇る、さまざまな美しい花に出会えるかもしれませんね。



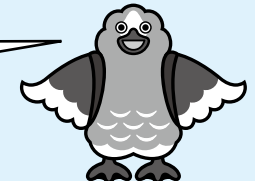
新たに開校しました 古川北小学校入学式

令和3年4月から古川北部地区の清滝、宮沢、富永、長岡の4つの小学校が統合し「古川北小学校」となりました。校舎は、旧長岡小学校を改修し活用していますが、校名や校章、校歌は公募により選定し新しくなりました。

また、古川北小学校では、地域とのつながりを大切にする取り組みとして、統合された4地区全体を学習の場とする「ふるさと教育」を推進していきます。
▲新1年生、期待に胸を膨らませ

パパ崎さんの食育コラム

その1
食べて元気に！
食育に関する情報をお知らせします！



世界農業遺産推進課 ☎ 23-2281

市では、市民の皆さんが健康で心豊かに暮らせるように、食文化や古くから伝わる食文化など、地域の資源を生かした食育をするために、「第2次大崎市食育推進計画」を策定しているよ。今年度は、計画の内容を振り返ったり、社会の変化などを参考にしたり、計画を見直す改訂版を発行する予定なんだ。
今月から、教育機関や農業関係団体などの食育の普及に関係する人たちから市民の皆さんへ、世界農業遺産



▲紙芝居を用いて食育の大切さを伝えていきます

「大崎耕土」で生まれた豊かな食文化や食品の無駄をなくす方法など、食生活のための身近な問題をこのコーナーで紹介していくよ。今後も紹介する情報を楽しみにしていてね！

広報おおさき5月号 2021 No.182

Main Contents 目次

- 02 新型コロナウイルスワクチンの接種が始まります
- 08 「大崎市景観計画」を策定しました
- 12 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定しました
- 13 CITY TOPICS
- 14 オオサキプレイガイド
- 16 映画「FUNNY BUNNY」
- 18 OSAKI Culture
- 19 暮らしの情報
市職員を募集します ほか
- 28 子育て支援情報
- 29 育児相談・乳幼児健診
- 30 相談コーナー
- 31 休日救急当番医 ほか
- 32 おすすめMain Dish